

## 様式 2

### 平成 22 年度 第 6 回安曇野市スポーツ振興計画策定委員会 会議概要

1	審議会名	スポーツ振興計画策定委員会
2	日 時	平成 22 年 7 月 27 日 午後 7 時 00 分から午後 8 時 45 分まで
3	会 場	豊科公民館 大会議室
4	出席者	古澤会長、加々美副会長、赤羽委員、大谷委員、降旗委員、丸山委員、宮沢委員、 阿部委員、征矢野委員、鹿川委員、会田委員、内川委員、布山委員、 山田（賢）委員、山田（文）委員、矢野委員、畠山委員、青柳委員
5	市側出席者	赤羽課長・青柳係長・深澤主査・中島主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0 人
	記者	0 人
8	会議概要作成年月日	平成 22 年 8 月 3 日
協 議 事 項 等		
1	会議の概要	<p>(1) 開会（赤羽課長）</p> <p>(2) 会長あいさつ</p> <p>(3) 協議事項</p> <p>①計画骨子・構成案について</p> <p>(4) 閉会（赤羽課長）</p>
2	会長あいさつ	<p>久方ぶりにお会いできてうれしく思う。この間、サッカーのワールドカップの華やかな世界があったり、大相撲の問題があったりした。松本平では松本工業と松商学園との高校野球の熱い戦いもあり、安曇野市でも先月には第 1 回となる市民スポーツ祭の総合開会式が行われ、参加していただいた方も数多くおられるのではないかと思います。いろいろな形でスポーツに関わっているみなさんの力でいいものにしていきたいので、意見をだしていただきたい。</p>
3	協議概要	<p>(1) 計画骨子・構成案について</p> <p>(会 長) 事務局のほうから説明をお願いしたい。</p> <p>(事務局) 【資料内容説明】</p> <p>(会 長) 今、最後のところで説明のあった新聞の記事をみて欲しい。国の施策でスポーツ立国戦略がこの 20 日に発表された。誰もがスポーツに親しめる社会の実現ということでこれまでスポーツと文化を違って捉えていた面があるが、原案ではスポーツを世界共通の人類の文化と定義、少子高齢化社会を迎えるなか、スポーツの振興は国の責務と位置づけたとある。このような流れが起こっている。原案要旨を見てもらうと新たなスポーツ文化の確立ということで競技志向、健康志向のものを合体するような形になっている。主な施策を見てみると幼児期を対象にした運動、スポーツの指針の策定、20 から 30 代を対象にしたスポーツ婚活の推進、高齢者向け体力検定制度の創設、国際競技大会を積極的に招致があり、今後の進め方としては、スポーツ振興基金と振興くじを一元化し、国費との役割分担を明確にする、関係省庁に連絡会議の新設、スポーツ庁設置を検討、スポーツ基本法など法整備というように国としてもスポーツというものを新たな視点で育てていこうという流れができてきている。この流れは県、市にもくると思う。国の方針を取り入れてくことは将来的にはうまくいくことにつながると思う。この国の流れについて質問、意見等あったらお願いしたい。</p> <p>(なし)</p>

協 議 事 項 等

- (会 長) 課題について質問、意見等あったらお願いしたい。
- (委 員) ①番のところでは障害のある人を最初に持ってきている意図は何かあるのか。障害の害の字の表記を漢字かひらがなで統一したほうがいい。②番のところでは働き盛りや家族がとあるが、働き盛りの人というように変えたほうがいいと思う。参加できる機会だけで場づくりはいらないと思う。
- (事務局) 順番は絶対ではない。最初にもってきた理由だが、ノーマライゼーションと言われて久しい。障害のある人や高齢者の方が使いやすい環境というのは一般の方にとっても使いやすいということにつながるのではないかと思う。スポーツに親しんで健康で明るい生活を長く続けていただくことがスポーツ振興の大前提であると思うので、取り組みにくいみなさんを冒頭にもってきた。
- (委 員) ②番のところは働き盛りの人や家族のみなさんがというようにしないと文言がおかしいと思う。
- (事務局) 広い意味でいくなら市民がということになる。
- (委 員) ①番と②番に分けて書かれていることには意味があると思う。
- (事務局) 分けて書いているのには、それぞれの年齢層に対応という思いもある。
- (委 員) 高齢期と書かれているが、高齢期に関係ない人も高齢期に入るからすぐにできるように準備するということも含まれているのか。若い時から一生続けられるようなスポーツに親しむという方向を指しているのであれば、そのほうが広い意味でいいのではないか。高齢者福祉の関係でいろいろな行事の案内はあるが、スポーツのほうからはない。縦割りであるので、横の連携も必要ではないか。
- (事務局) 行政内部にも検討会議をもっている。その中には福祉関係の職員も加わってもらっている。健康福祉のほうで高齢者の方に対していろいろとやっていますし、今の時代としてもそういったことに取り組む必要があるということで記載してある。
- (委 員) 大きくいえば、スポーツも福祉に含まれる。文部科学省の施策との関係をどのように考えているのかお聞きしたい。
- (事務局) 縦割りと言われるかもしれないが、スポーツ振興法を見ずして横につながるというわけにはいかない。スタートとしてはこういう形ですすめさせていただきたい。
- (委 員) 福祉部と協力してやるという文言がどこかに入ったほうがいい。
- (事務局) まだ、文言は入れてないが、福祉関係との連携をとって進めていく予定はしている。
- (委 員) 身障者に対し福祉関係でスポーツをやしましょうという呼びかけがない。南松本には福祉体育館がある。安曇野市でも障害者スポーツへの取り組みをお願いしたい。
- (事務局) 福祉との連携をという話があった。当初も話したが、庁内検討会議があり、福祉部局の職員もいる。いただいた意見はそういったところでも反映していきたい。
- (会 長) 文言などは後で修正するというので、記述に対して順位はあるのか。①番に書かれているものから優先順位が高いように感じるがどうだろうか。
- (委 員) 市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに参加できる機会をまず捉えて、そこに高齢者がいたり、働き盛りがいたりというように考えたほうがいいと思う。
- (会 長) そう考えると②番が最初にきたほうがいいのか。
- (委 員) いいような気がする。
- (委 員) ①番、②番は対象を絞って書かれている。抽象的かもしれないが、市民だれもがいつでもどこでもやれる環境づくりということでもいいと思う。
- (会 長) 大きな将来像があってそれに対して具体的な課題というようにしたほうがいいような気がする。

協 議 事 項 等

- (委 員) そのほうが分かりやすい。
- (会 長) 逆にしたいと思う。そう考えた時に四角の中の言葉はこれでいいか。
- (委 員) 健康スポーツという定義、概念を安曇野市としてどうとらえているか。説明責任ができるのか。
- (事務局) 安曇野市として答えるのは難しい。一般論になってしまうが、スポーツを通じての健康づくり、地域づくりを目指すところの健康ということになると思う。
- (委 員) 答えをもっていないといけないと思う。
- (会 長) 将来像はこの流れで基本目標の順番はどうだろうか。
- (委 員) 課題とすれば人づくり、組織づくり、それと平行して施設整備があると思う。
- (委 員) みんなのスポーツがあって、アスリートのスポーツがあって、そのあと観光とかがあると思う。
- (会 長) 今の意見だと②番が1番、④番が2番、①番が3番、③番が4番、⑤番が5番、それか②番が1番、⑤番が2番、④番が3番、①番が4番、③番が5番の案がある。
- (委 員) 生涯学習推進計画にそれぞれの体力や年齢とかライフステージとかという言葉がある。
- (会 長) あまり限定しないほうがいいのか。
- (委 員) 限定すると難しい問題がでてくると思う。
- (事務局) 生涯学習推進計画はスポーツ振興計画の前段にあってももう少し大きく捉えた方向性を示す意味合いがある。スポーツ振興計画のほうは、具体的にどこまで踏み込むべきかというのもあるが、現場に近い内容になると思う。先ほどの順番も深く意識しているわけではない。
- (委 員) この文書は誰あてのものなのか。
- (事務局) 市民のみなさんに向けて発信するもの、抛り所にしてもらうものである。
- (委 員) アンケートなどの結果から安曇野市の課題や方針がでるのは分かるが、国や県の計画を重視して同じようなものになってしまわないか。
- (事務局) まだ、大見出しだけなので、今後、より具体化したものを入れていくことになる。
- (委 員) スポーツ振興計画の中では優先順位があるのか、全部一緒にとらえるのか。優先順位をつけるとしたら、それを盛り込むのか。
- (事務局) スポーツ振興計画も総合計画、生涯学習推進計画との整合性をとっていかなければいけない。目次など、もう少し分かりやすい資料を示せばよかったと反省している。まずは、骨子、構成案についてこれでいいのか、付け加えるものがあるのか検討していただければと思う。
- (会 長) 予算を人のために使うのか、環境をつくるために使うのか、施設のために使うのか、われわれがどこが一番使いたいのか、それが根本にあると思う。
- (委 員) 総合計画にある基本方針、スポーツ施設の充実と適切な管理を行い、誰もがスポーツに親しめる環境を整備し、スポーツを通じたコミュニティづくりと心身の健康増進及び競技力の向上を目指しますとあるので、これが大前提になると思う。国の施策との関わりもどうもたせていくかも課題である。
- (委 員) 国の施策のスポーツ立国戦略の話があったが、そちらに比重をおいていくのか。コンセプトをはっきりさせたほうがいい。課題はこうだからこういうことに取り組みますよという展開のほうが分かりやすい。今、そういう展開でないような気がする。
- (事務局) 先ほどどこにお金を使うのかという話があったが、野球場などというのは難しいと思う。今の施設を改修しながら、市民のためにどのようにしていくかはハード面の大きな課題である。
- (委 員) 総合計画の基本方針はハード面を優先するようにも感じとれる。
- (事務局) 新たな施設を造ることだけを表しているわけではない。国の施策も無視するわけにはいかない。スポーツ振興法が根底にある。かといってそれにすべてしぼられるわけではない。より身近なみなさんが納得いただけるような計画にしたい。

協 議 事 項 等

- (委 員) スポーツ振興計画は何年計画なのか。  
(事務局) 29年度まで。  
(会 長) アンケートの結果で高かったものに焦点をあてて、それを実現できる方向にもっていきべきだろうと思う。この委員会できめたことが7年後形になっていれば、やった価値があったと思う。
- (委 員) 細かい部分はまた話すとして大まかな部分をまとめたほうがいいと思う。  
(会 長) まとめの方向の話があった。先ほどのことをまとめると基本方針のほうを先にもってきて計画策定課題①から⑤までにするということであった。  
(委 員) 内容的にはいいと思う。市民に周知することが課題だと思う。具体的にどんなことをやるのか決めないと読んだだけで終わってしまう。  
(会 長) 次の段階の周知方法を考えたほうがいいということであった。  
(会 長) 将来像の仮案の文字はとったほうがいいのか。  
(委 員) 手直しの部分があると思うのでこのままでいいと思う。  
(会 長) 冒頭に将来像の部分をもってくるということでもいいか。  
(よいの声)
- (会 長) 次に基本目標をもってきて、②番が1番、⑤番が2番、④番が3番、①番が4番、③番が5番というように順番を並び替えるということでもいいか。  
(よいの声)
- (会 長) 次に計画策定課題をもってきて今の並び順をあわせるということでもいいか。  
(よいの声)
- (委 員) 総合計画、生涯学習推進計画との関係という資料があるが、かなり具体的にかかっている。これらと整合をとっていくということか。  
(事務局) 今あるものを並べた資料である。参考にしてもらえばと思う。  
(委 員) ひきこもりとか社会に適応できない人にスポーツを通じて社会復帰させるというようなことは考えていないのか。  
(事務局) あえてそういう方たちをとりあげることは考えていないが、ただ、無視をしているわけではない。議論を深めていく中でとりあげてもらうことでもいいと思う。  
(委 員) 将来的にもサポートしますよという内容をいれたほうがいいと思う。目で見えて分かるものに関してはとりあげやすいが、いかに掘り下げるかが大事だと思う。  
(委 員) 学校でも発達障害の子どもが増えている。今のことを大事に扱っていただければありがたい。  
(委 員) 地域の自然を活用したというところにランニングも入れて欲しい。  
(事務局) ランニングに限らず、いろいろな面を検討したい。